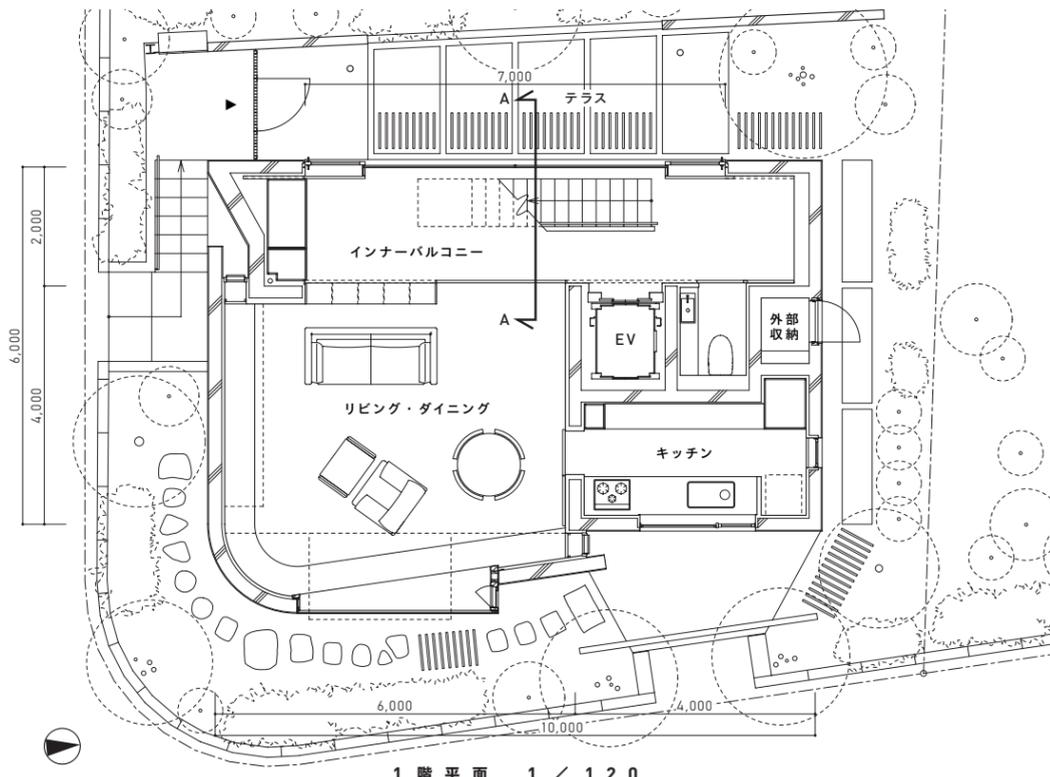


内外の 空間をつなぐ 装置としての階段

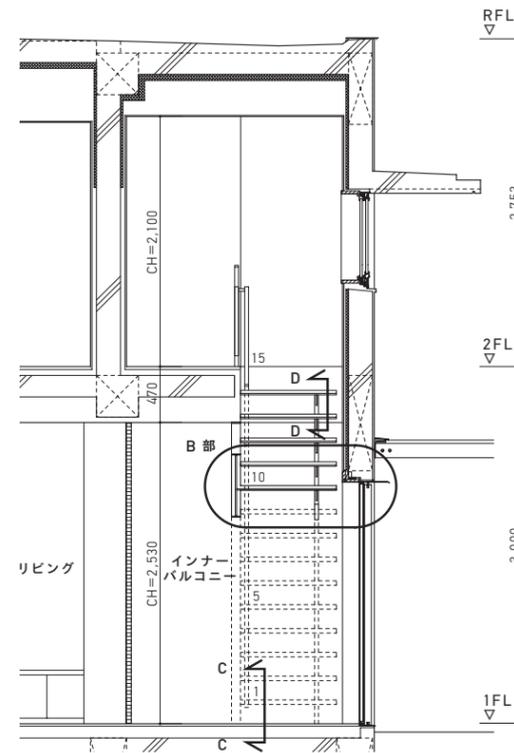
緑と風と光の家
矢板建築設計研究所

House for Green, Breeze and Light
by Yaita and associates

構造設計：構造計画プラス・ワン
施工：大同工業
構造：RC造
規模：地下1階，地上2階
階段製作：岡村金物店
竣工：2014年4月
所在：東京都大田区
撮影：小川重雄

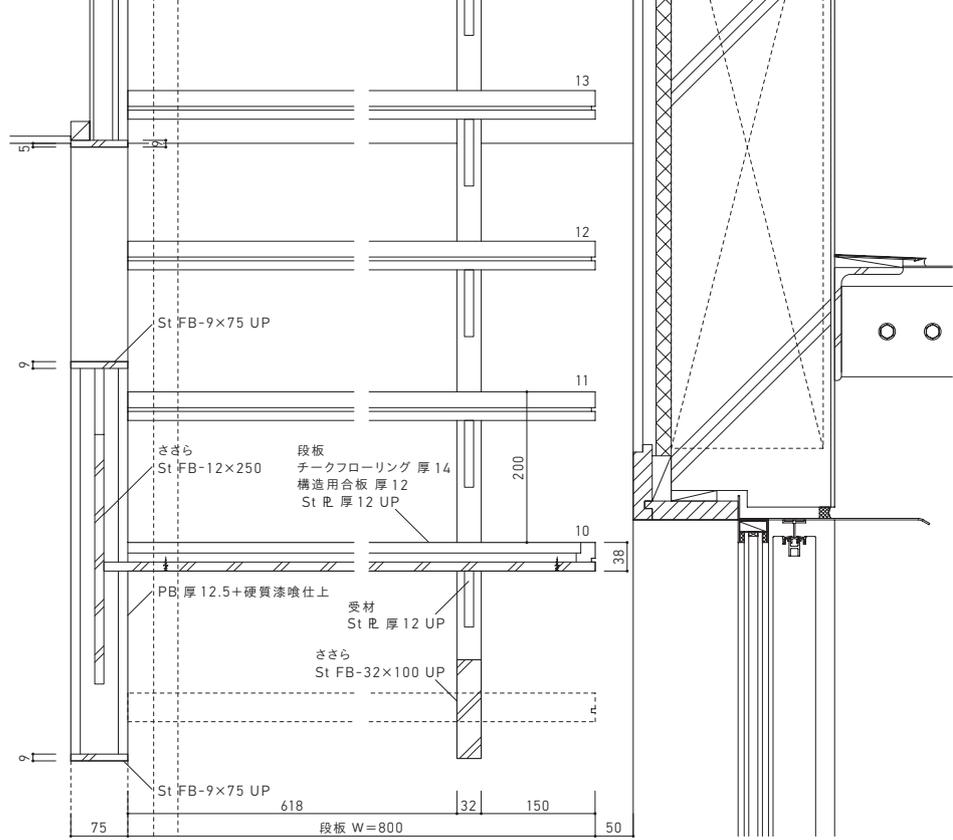


1階平面 1 / 120

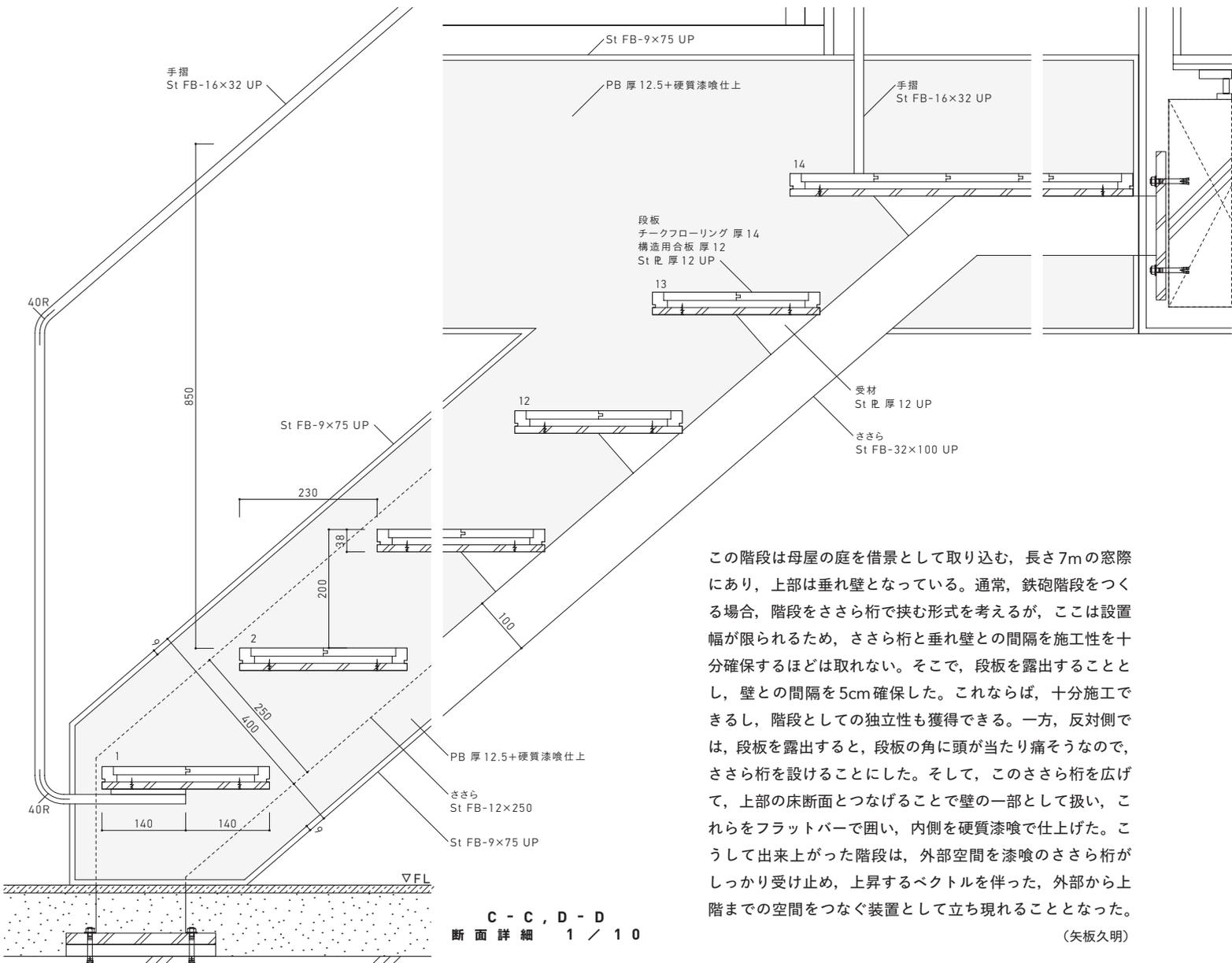


A-A断面 1 / 60





B 部 断面詳細 1 / 10



C - C, D - D
断面詳細 1 / 10

この階段は母屋の庭を借景として取り込む、長さ7mの窓際
にあり、上部は垂れ壁となっている。通常、鉄砲階段をつくる
場合、階段をささら桁で挟む形式を考えるが、ここは設置
幅が限られるため、ささら桁と垂れ壁との間隔を施工性を十
分確保するほどは取れない。そこで、段板を露出することと
し、壁との間隔を5cm確保した。これならば、十分施工で
きるし、階段としての独立性も獲得できる。一方、反対側
では、段板を露出すると、段板の角に頭が当たり痛そうなので、
ささら桁を設けることにした。そして、このささら桁を広げ
て、上部の床断面とつなげることで壁の一部として扱い、こ
れらをフラットバーで囲い、内側を硬質漆喰で仕上げた。こ
うして出来上がった階段は、外部空間を漆喰のささら桁が
しっかり受け止め、上昇するベクトルを伴った、外部から上
階までの空間をつなぐ装置として立ち現れることとなった。

(矢板久明)